

目標 1

一人ひとりを大切にする
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 3 ひとが集いにぎわいと活力を生むまち

農林業

- ① 農業
- ② 林業

水産業

- ① 漁業
- ② 水産加工・販売促進

観光

- ① 観光

商工業

- ① 商工業
- 産業振興
- ① 産業振興
- ② 就労対策



農林業

① 農業

現状と課題

国際貿易競争の激化、就農者の高齢化、担い手不足、消費者の食に対する安全・安心への高まりなど、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

これらの問題を解決し、あばしり農業が持続的に発展するためには、優良農地の確保や経営安定のほか、農商工連携などによる付加価値の高い農畜産物づくり、さらには、ICT、IoTの技術を取り入れたスマート農業の推進などが必要となっています。

また、家畜ふん尿、農薬、過肥などにより生じる環境負荷に対して、行政と農業関係者が一体となったモラルの向上や規範づくりが求められています。

基本方針

「足腰の強い」農業生産基盤を形成し、環境にも配慮した持続的発展が可能な農業を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①安定した生産体制づくり	- 農用地の保全 - 生産基盤、経営体質の強化 - 防疫体制の強化 - 鳥獣被害防止対策の推進
②環境と調和した農業の推進	環境保全型農業の推進
③活力ある農業の推進	- 担い手の育成、確保 - スマート農業の推進 - 地産地消の推進 - 高付加価値化、ブランド化の推進

関連する個別計画

- 網走市農業振興計画
- 網走市農業振興地域整備計画
- 網走市酪農・肉用牛生産近代化計画
- 網走市家畜排せつ物利用促進計画
- 網走市鳥獣被害防止計画

ICT ----- 情報・通信に関する技術の総称。「情報通信技術」

IoT ----- いろいろなものがインターネットと繋がることで利便性を高めた使い方ができること

スマート農業 -- 先端技術による省力化や大規模生産、品質の向上などを目指す新たな農業

農林業

② 林業

現状と課題

森林は、経済価値のほか、水源かん養、水の浄化などの機能を持ち、野生生物の生息場所はもとより、レクリエーションや環境教育の場となるなど、多面的な機能を持っています。

本市の森林面積は市全体の約3割を占めており、林業・林産業の振興を図るため、計画的な造林や森林施業に取り組み、長期的な視点で森林の育成と保全を推進していくことが求められています。

また、民有林については、経済林としての機能を保ちつつ、適切な伐採や植林が行われるよう、森林更新を促進していくことが必要です。

基本方針

森林の重要性を啓発するとともに、うるおいのある森林と共生するまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①森林の保全、環境整備	■ 森林資源の保全と適正な維持管理 ■ 森林監視体制の強化 ■ 人工造林や除間伐の推進 ■ 市街地周辺の森林に親しめる場の整備
②森林施業の推進	■ 生産基盤の強化 ■ 林業従事者の育成、確保 ■ 森林組合の基盤強化
③森林や林業に対する理解促進	■ 木育の推進 ■ 緑化運動の推進 ■ 森林の利活用促進

関連する個別計画

- 網走市森林整備計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標1
一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標2
豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3
ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4
豊かなひとを育むまち

目標5
ともに歩み、
築く協働のまち

水産業

① 漁業

現状と課題

オホーツク海での沖合・沿岸漁業や、網走湖などでの内水面漁業が盛んに行われており、豊富な水産資源は「おいしいまち網走」の代名詞となっています。

将来にわたって安定した生産を維持するためには、試験・研究機関との連携、協力により、漁場環境調査や資源管理型漁業の推進、「つくり育てる漁業」の取り組みが重要となっています。

また、国際貿易競争の高まりや消費者の食に対する安全・安心への高まりから、衛生管理体制の強化が求められています。

さらに、海面、内水面ともに環境保全への取り組みが重要であり、周辺流域からの土砂流出などによる湖の浅化への対応など、流域環境と水質保全に対する取り組みが求められています。

基本方針

適切な漁場環境の保全と資源管理に努め、戦略的な漁業を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①資源管理型漁業の推進	▪ 資源管理対策の推進 ▪ 漁獲管理体制の強化
②つくり育てる漁業の推進	▪ 増殖事業の推進 ▪ 新しい漁業資源の造成への取り組み
③漁場環境の保全	▪ 漁場環境保全の推進 ▪ 湖沼、河川環境の保全
④試験研究機関との連携	▪ 試験研究機関との連携、協力、情報の共有

関連する個別計画

- 新網走市水産振興計画

水産業

② 水産加工・販売促進

現状と課題

豊富な水産物、水産加工品のブランド化や高付加価値化を進めると同時に、衛生管理体制の強化を進め、国内はもとより国外も視野に販路の拡大を図り、地域経済の活性化につなげることが求められます。

また、地元での消費の拡大により地域の食に貢献するとともに、観光や合宿で網走を訪れる多くの方々の食にも貢献することにより、交流人口の拡大にも寄与することが期待されます。

基本方針

ブランド力のある水産のまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①水産物の付加価値の向上	▪ 水産物のブランド化の推進 ▪ 新製品開発等の推進
②水産加工業の振興	▪ 人材確保、育成の推進 ▪ 衛生管理体制の強化と安全・安心な水産加工品の提供
③水産物・水産加工品の消費と販路の拡大	▪ 地場水産物の認知度向上、消費拡大の推進 ▪ 地場水産物、加工品の大消費地等への販路拡大

関連する個別計画

- 新網走市水産振興計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標1 一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標2 豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3 ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4 豊かなひとを育むまち

目標5 とともに歩み、
築く協働のまち

観光

① 観光

現状と課題

人口が減少傾向にある中、観光客などの交流人口の拡大により人口減少の影響を緩和し、地域の活性化を図ることが重要になっています。

国内観光客はもとより、近年増加傾向にある外国人観光客をいかに誘客できるかが課題となっており、自然、食、景観、観光施設など、さまざまな地域特性を活かしながら、ここでしか体験できない魅力の創出や強化のほか、観光業を担う人材の育成、さらに多様な交通手段の提供など、観光客のニーズを的確に捉え、その時々に応じた迅速かつ戦略的な観光施策の展開が求められています。

基本方針

誰もが訪れたい、魅力ある観光のまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①観光客の利便性向上	▪ Wi-Fi や外国語対応等の環境整備 ▪ 人材育成なども含めたホスピタリティの向上 ▪ 交通アクセスの円滑化
②地域の魅力向上と観光資源の磨き上げ	▪ 地域資源を活用した観光価値の向上と高付加価値化 ▪ 観光消費額の拡大
③地域の魅力の戦略的な発信	▪ 効果的な情報発信とプロモーションの展開
④多様な連携による観光の推進	▪ 広域も含めた地域連携の強化 ▪ 誘客や滞在促進につながる広域・拠点周遊観光の促進 ▪ 多様な関係者との連携による新たな観光地域づくり

関連する個別計画

- 網走市観光振興計画

Wi-Fi ----- パソコンやスマホなどを、無線でインターネットにつなぐことのできる技術
ホスピタリティ -- 観光客への対応、おもてなし

商工業

① 商工業

現状と課題

人口減少・少子高齢化、情報通信技術の急速な発展などにより、大都市圏への人口や資本の集中から、地方経済の疲弊が加速することが懸念されています。

こうした中、さまざまな環境の変化に対応できるよう、経営基盤の強化や人材育成に取り組むとともに、高齢者や外国人観光客の増加、ICTの進展など変化する消費者ニーズに対応することが課題となっています。

また、商店街等についてはにぎわいの創出と活性化を図り、魅力を向上することが求められています。

新たな工場の立地に向けては、再生可能エネルギーの活用や既存の企業との連携など、地域特性を活かした企業誘致が求められています。

基本方針

中小企業の経営強化を図るとともに、にぎわいのある商業地の形成を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①中小企業の振興	▪ 中小企業の経営強化、支援の充実 ▪ 人材確保、育成の推進
②都市拠点としての機能の強化	▪ 中心市街地の活性化 ▪ 網走駅周辺の活性化
③魅力ある沿道商業ゾーンの形成	▪ 消費者ニーズに対応した魅力ある商業ゾーンの形成
④新たな企業誘致を促す環境整備	▪ 企業立地に係る環境整備 ▪ 企業誘致の促進
⑤新エネルギーの利用促進	▪ 再生可能エネルギーの利活用促進

関連する個別計画

- 網走市都市計画マスタープラン

ICT ----- 情報・通信に関する技術の総称。「情報通信技術」

再生可能エネルギー -- 一度利用しても再生可能な、枯渇しないエネルギー資源

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

産業振興

① 産業振興

現状と課題

人口減少・少子高齢化により国内消費の減少が見込まれる中、一方で経済のグローバル化により国際競争力を高めることが求められています。

こうした中、一次産業や東京農業大学などの地域の強みを最大限に活かしながら、地域活性化を担う人材の育成に取り組み、農商工連携や各種研究機関、金融機関などとの連携による新たな事業の創出、生産性の向上や高付加価値化の推進など、地域経済の活性化を図ることが重要となっています。

基本方針

地域特性を活かしたさまざまな連携による新産業の創出を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①ブランド化と高付加価値化の推進	- ものづくり支援の充実 - 商品等のPR促進
②国内外への販路拡大に向けた支援	- ふるさと納税制度を活用した特産品PR - 地場産品の市場開拓、販路拡大の推進
③6次産業化、農商工連携の推進	- 一次産業、研究機関、金融機関など多様な連携 - 東京農業大学との連携強化 - 人材の育成
④創業支援	起業化、新たな事業化に対する支援の充実

関連する個別計画

- 網走市創業支援事業計画

産業振興

② 就労対策

現状と課題

本格的な人口減少・少子高齢化の進展により、医療、福祉、建設、交通など、さまざまな分野での人手不足が深刻化しています。

東京農業大学の学生は、希望する職種のミスマッチから地元で就労することが極端に少なく、同じ傾向として、大学などへの進学により地元を離れた学生たちの U ターン就労も少ない状況となっており、若年層に対する就労対策が課題となっています。

また、今後の労働力を確保するためには、高齢者や女性の活躍が欠かせないことから、就労機会の充実や環境整備を進めることが重要であり、多様な労働力確保の取り組みが求められています。

さらに、本格的な高齢化社会を迎え、障がい者の就労支援を通じて心のバリアフリーを進めながら、誰にでもやさしいまちづくりが求められています。

基本方針

誰もが生きがいを持って就労できる環境整備を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①就労支援	- 就労に関する情報提供の充実 - U・I ターンの推進 - インターンシップの促進 - 女性、高齢者の就労支援の充実 - 障がい者雇用の推進 - 季節労働者の通年雇用化の促進
②勤労者福祉の充実	- 労働相談の充実 - 職業能力開発の促進 - 労働環境、労働諸条件の改善促進 - 勤労者の共済制度、福利厚生の充実 - 勤労者福祉施設の充実

心のバリアフリー — 一人ひとりがお年寄りや障がいのある人のことを理解し、相手の気持ちになって考え、協力していくこと

U・I ターン — 「U ターン」は、地方から都市に移住した人が、再び故郷に戻ることに。「I ターン」は、都市部から出身地とは違う地方に移住して働くこと

インターンシップ — 学生が、企業などで一定期間、就業体験をすること

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち